

(小規模企業景気動向調査)

三重の景況

No.78

(令和3年1月～6月期)

三重県商工会議所連合会

桑名	商	工	会	議	所
四日市	商	工	会	議	所
鈴鹿	商	工	会	議	所
亀山	商	工	会	議	所
津	商	工	会	議	所
松阪	商	工	会	議	所
伊勢	商	工	会	議	所
鳥羽	商	工	会	議	所
上野	商	工	会	議	所
名張	商	工	会	議	所
尾鷲	商	工	会	議	所
熊野	商	工	会	議	所

はじめに（総括）

県内 12 商工会議所では、地区の小規模企業を対象とした景況調査を年 2 回実施しています。このたび令和 3 年上期の調査結果がまとまりましたのでご報告します。

三重県内の景況を示す指標である「現状」の D I 値は、▲48.5 と令和 2 年下期に比べ 11.1 ポイント改善しました。

業種別の「現状」D I 値は、製造業▲45.8（前期▲66.9）、建設業▲34.1（前期▲42.3）、卸売業▲63.0（前期▲68.1）、小売業▲62.3（前期▲69.7）、飲食業▲82.3（前期▲83.9）、サービス業▲41.9（前期▲52.2）、交通運輸業▲27.3（前期▲67.3）、その他の業種▲32.6（前期▲57.3）と、すべての業種で改善しました。

地区別の「現状」D I 値は、北勢地区▲45.1（前期▲55.9）、中勢地区▲43.1（前期▲64.1）、南勢地区▲60.7（前期▲71.6）、伊賀地区▲54.3（前期▲57.5）、東紀州地区▲55.3（前期▲57.9）となり、すべての地区で改善しました。

また、「今後の見通し」の D I 値は▲39.3 となり、現状の D I 値（▲48.5）と比較すると 9.2 ポイントの改善を見通しています。業種別では、製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業、その他の業種が改善を見通すほか、建設業、交通運輸業は悪化の見通しです。地区別では、すべての地区で改善の見通しとなりました。

「売上状況」「利益状況」「販売条件」「仕入条件」の項目においては、仕入条件の全体 D I 値は悪化の傾向となりましたが、その他の項目は全体 D I 値が前期より改善の傾向となりました。

景気の方角性を示す「設備投資」の項目は、「行った」とした割合が全体で 18.1%（前期 19.9%）と▲1.8 ポイント減少し、「予定している」とした割合は、全体で 12.7%（前期 13.7%）と 1.0 ポイント減少しました。業種別の実績では、交通運輸業が 29.5%で割合が最も高く、続いて飲食業 26.0%、サービス業 20.8%となっています。

「借入の状況（難易度）」の D I 値は、全体で 4.2（前期 14.9）と悪化したほか、「借入を予定している」と回答した企業の割合は 11.8%（前期 12.6%）、「使途予定」については『運転資金』の割合は 71.5%（前期 68.5%）、『設備資金』の割合は 25.5%（前期 26.8%）となりました。

以上が本調査結果の概要です。本調査報告書が皆様の今後の企業経営の参考や小規模企業に対する皆様の更なる理解に資することになれば幸いに存じます。

最後に本調査の実施、作成にあたりましては、調査対象企業をはじめ関係各位の皆様にご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

令和 3 年 8 月

三重県商工会議所連合会

も く じ

(調 査 内 容)

・ 調査要領	1
1. 現状と今後の見通し	4
現況D I 値の推移	6
2. 売上状況	8
3. 今後の売上見通し	8
4. 利益状況	9
5. 販売条件	9
6. 仕入条件	10
7. 設備投資	10
8. 資金繰り状況と今後の見通し	11
9. 借入状況	12
借入難易度D I 値の推移	13
10. 借入予定	14
11. 借入希望先	14
12. 借入金の使途予定	15
13. 経営上の問題点	15
・ 県内商工会議所地区の景況	17
・ 景況調査票	

「三重の景況」調査要領

1. 調査目的

当調査は、三重県商工会議所連合会と県内 12 商工会議所〔*1〕が、小規模企業〔*2〕の動向を合同で調査することにより、県内小規模企業の景況把握を、地区別〔*3〕に行い、合わせて各会議所地区の景況を調査することにより、各商工会議所の事業活動の参考とすることを目的とする。

〔* 1〕 県内商工会議所

桑 名商工会議所	中小企業相談所
四日市商工会議所	中小企業相談所
鈴 鹿商工会議所	中小企業相談所
亀 山商工会議所	中小企業相談所
津 商工会議所	中小企業相談所
松 阪商工会議所	中小企業相談所
伊 勢商工会議所	中小企業相談所
鳥 羽商工会議所	中小企業相談所
上 野商工会議所	中小企業相談所
名 張商工会議所	中小企業相談所
尾 鷲商工会議所	中小企業相談所
熊 野商工会議所	中小企業相談所

〔* 2〕 小規模企業（中小企業基本法による）

卸売・小売・サービス業は従業員 5 人以下（宿泊業・娯楽業は 20 人以下）、
製造・建設・その他の業種については 20 人以下。
（会社の役員・家族従業員・パートを除く）

〔* 3〕 県内各地区は下記のとおり

北勢地区……桑名・四日市・鈴鹿・亀山
中勢地区……津・松阪
南勢地区……伊勢・鳥羽
伊賀地区……上野・名張
東紀州地区…尾鷲・熊野

2. 調査対象・回答状況

県内 12 商工会議所の会員企業中、任意抽出した小規模企業 9,362 事業所を対象とした。回答状況は、回答率 29.5%、回答企業 2,760 事業所であった。

3. 調査方法

F A X または郵送方法によるアンケート方式

4. 調査期間

令和 3 年 7 月 1 日～7 月 9 日

※ 当調査は、“1 月～6 月期”と“7 月～12 月期”の年 2 回、前年同期比の DI 値による調査を実施している。

5. 集計方法

外部委託を行い、一括コンピュータ集計を行った。

6. 調査結果の取りまとめ

調査結果の取りまとめについては、松阪・上野・名張の 3 商工会議所が担当した。

なお、各商工会議所地区の景況は当該商工会議所が担当した。

DI 値（ディフュージョン・インデックス）の見方について

DI とは景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及のない限り、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

（注）図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第 2 桁で四捨五入をしているため、合計が 100.0 にならない場合がある。（マイナスは▲表示）

業種別・地区別回答状況

単位：企業（ ）：％ 上：業種別構成率 下：地区別構成率

業種	地区	北勢					中勢			南勢			伊賀		東紀州			計		
		桑名	四日市	鈴鹿	亀山		津	松阪		伊勢	鳥羽		上野	名張		尾鷲	熊野			
製造業	食料	42	12	18	11	1	25	8	17	17	8	9	8	3	5	15	10	5	107	
	せんい	7	1	2	3	1	1	0	1	2	2	0	8	5	3	1	1	0	19	
	機械	60	26	17	13	4	13	2	11	12	4	8	3	2	1	4	4	0	92	
	金属製品	79	33	14	27	5	16	4	12	9	9	0	6	5	1	3	3	0	113	
	木材	22	11	6	3	2	17	1	16	2	2	0	2	2	0	14	9	5	57	
	化学	4	1	1	0	2	1	1	0	2	2	0	3	2	1	0	0	0	10	
	窯業	18	1	13	2	2	1	0	1	0	0	0	3	2	1	3	2	1	25	
	印刷出版	15	5	1	7	2	13	7	6	2	2	0	3	1	2	1	1	0	34	
	その他	47	12	11	22	2	19	5	14	10	9	1	5	3	2	5	3	2	86	
	計	294 (20.6) (54.1)	102	83	88	21	106 (21.3) (19.6)	28	78	56 (14.3) (10.3)	38	18	41 (18.2) (7.6)	25	16	46 (21.1) (8.5)	33	13	543 (19.7) (100.1)	
非製造業	建設業	土木工事	92	13	52	23	4	18	7	11	13	6	7	20	8	12	10	5	5	153
		建築工事	145	33	58	48	6	63	31	32	23	14	9	11	7	4	16	12	4	258
		その他	159	30	97	26	6	53	26	27	25	21	4	14	4	10	10	5	5	261
		(小計)	396	76	207	97	16	134	64	70	61	41	20	45	19	26	36	22	14	672
	卸売業	食料	21	8	10	1	2	7	3	4	7	6	1	2	0	2	7	5	2	44
		せんい	5	0	4	1	0	2	1	1	5	4	1	4	4	0	1	0	1	17
		その他	51	17	26	5	3	19	9	10	25	20	5	7	1	6	2	1	1	104
		(小計)	77	25	40	7	5	28	13	15	37	30	7	13	5	8	10	6	4	165
	小売業	せんい	31	12	11	5	3	13	3	10	17	12	5	6	6	0	11	5	6	78
		食料	51	15	17	11	8	15	2	13	21	16	5	8	3	5	18	6	12	113
		日用品	9	5	3	0	1	9	3	6	3	3	0	0	0	0	2	1	1	23
		電気製品	15	3	7	3	2	5	2	3	9	8	1	4	3	1	4	4	0	37
		その他	107	31	37	33	6	54	6	48	32	18	14	15	5	10	21	11	10	229
		(小計)	213	66	75	52	20	96	16	80	82	57	25	33	17	16	56	27	29	480
	飲食業	110	26	24	47	13	23	5	18	59	43	16	28	16	12	22	13	9	242	
	サービス業	美容・理容	32	8	16	3	5	3	0	3	7	5	2	13	9	4	8	6	2	63
		ホテル旅館	6	2	2	2	0	2	1	1	18	1	17	2	1	1	4	2	2	32
		自動車整備	21	6	7	3	5	13	2	11	13	12	1	7	3	4	4	3	1	58
		不動産	67	19	32	14	2	17	8	9	7	7	0	8	3	5	6	4	2	105
		その他	110	33	40	27	10	40	16	24	37	32	5	24	9	15	11	6	5	222
		(小計)	236	68	97	49	22	75	27	48	82	57	25	54	25	29	33	21	12	480
	交通運輸業	15	3	1	2	9	19	2	17	2	1	1	3	3	0	5	5	0	44	
	計	1047 (73.2) (50.3)	264	444	254	85	375 (75.5) (18.0)	127	248	323 (82.4) (15.5)	229	94	176 (78.2) (8.4)	85	91	162 (74.7) (7.8)	94	68	2083 (75.5) (100.0)	
その他・不明	88 (6.2) (65.7)	23	34	25	6	16 (3.2) (11.9)	16	0	13 (3.3) (9.7)	8	5	8 (3.6) (6.0)	3	5	9 (4.1) (6.7)	6	3	134 (4.9) (100.0)		
合計	1429 (100.0) (51.8)	389	561	367	112	497 (100.0) (18.0)	171	326	392 (100.0) (14.2)	275	117	225 (100.0) (8.2)	113	112	217 (99.9) (7.9)	133	84	2760 (100.0) (100.1)		

1. 現状と今後の見通し

a) 現状

全回答企業 2,760 事業所中、「良い・やや良い」が 12.0%、「悪い・やや悪い」が 60.5%で、D I 値は▲48.5（前期▲59.6）となり、11.1 ポイント改善した。

業種別の D I 値では、前回と比べすべての業種でマイナス幅が減少し改善となり、製造業▲45.8、建設業▲34.1、卸売業▲63.0、小売業▲62.3、飲食業▲82.3、サービス業▲41.9、交通運輸業▲27.3、その他の業種▲32.6 となった。

地区別の D I 値では、前回と比べすべての地区で改善が見られ、北勢地区▲45.1、中勢地区▲43.1、南勢地区▲60.7、伊賀地区▲54.3、東紀州地区▲55.3 となった。

図-1 現状について（業種別）

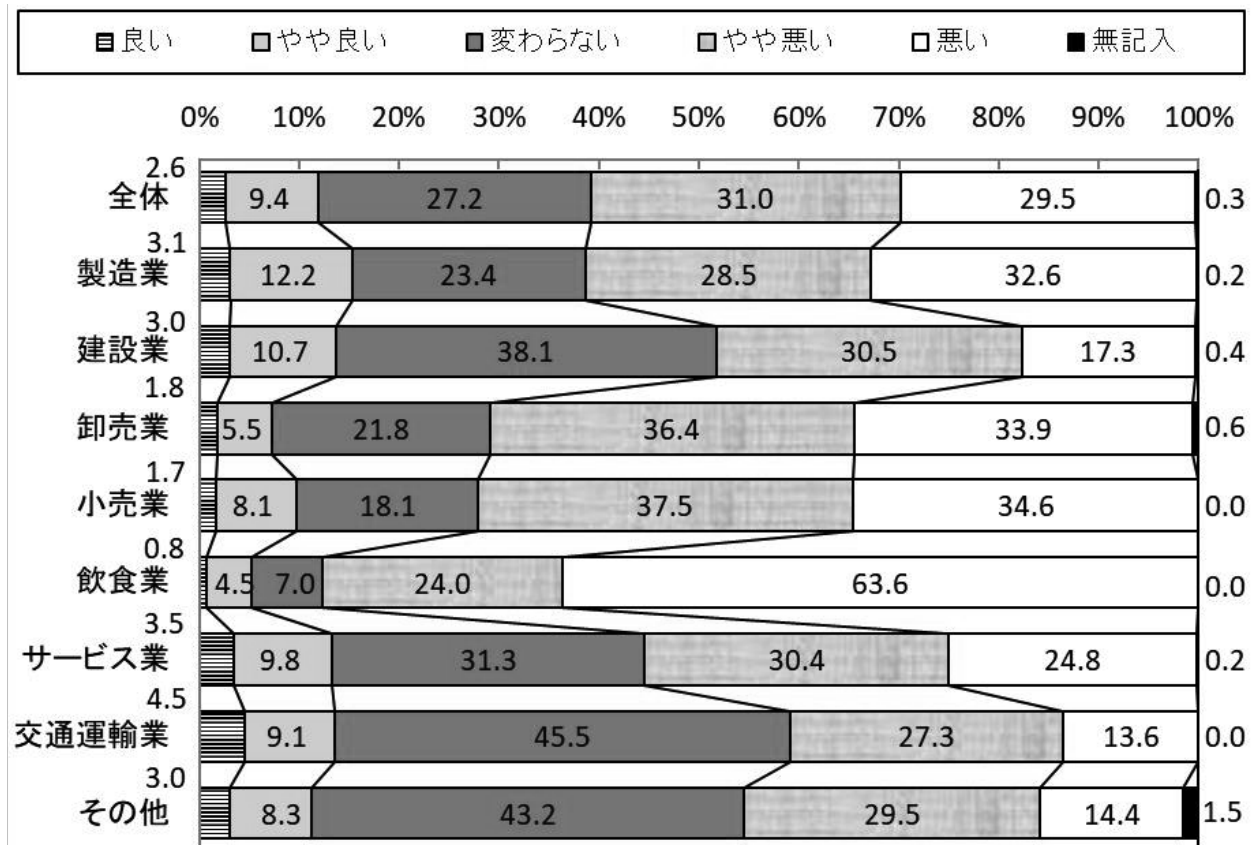
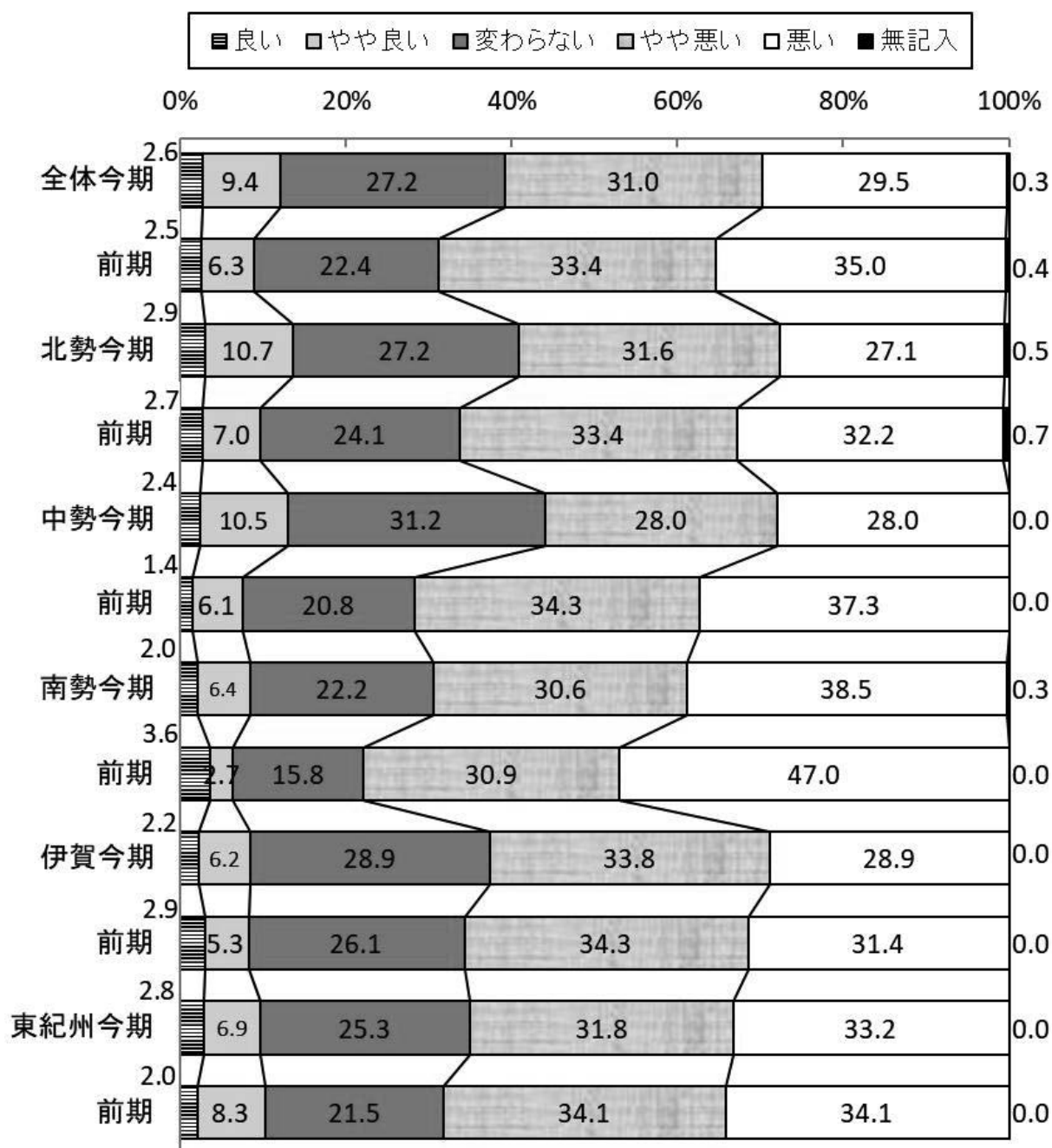
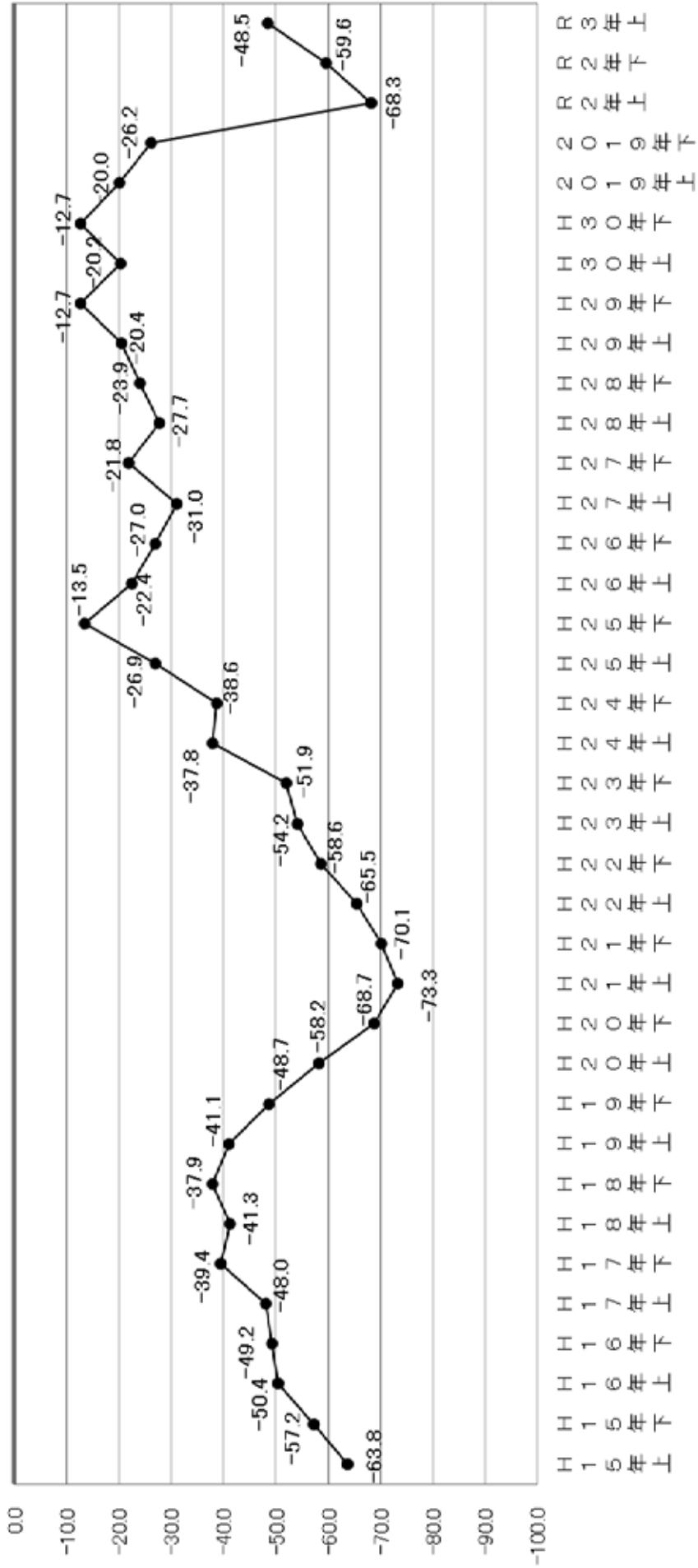


図-2 現状について（全体・地区別）



図一3 現況DI値の推移



(注) H17下期分までの値はBSI値を2倍した数値で表示

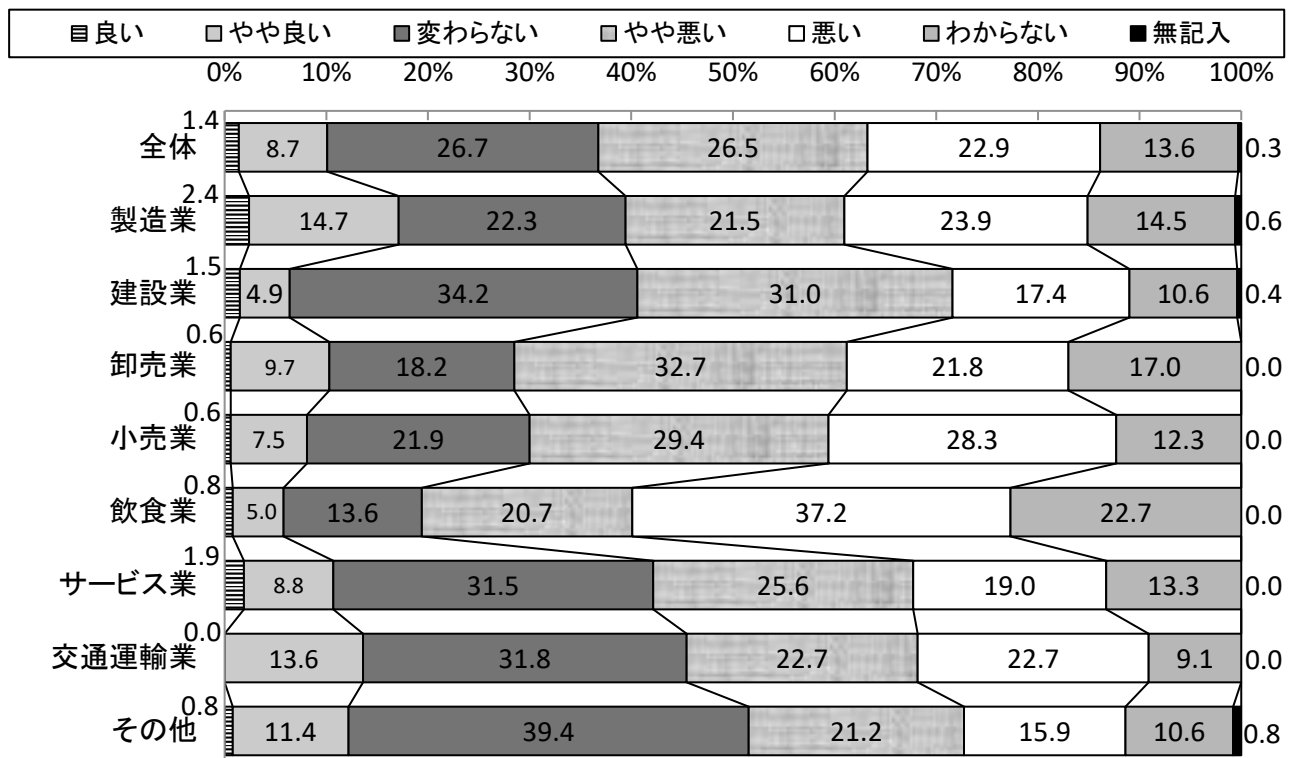
b) 見通し

全体的見通しでは、「良い・やや良い」が10.1%、「悪い・やや悪い」は49.4%で、D I値は▲39.3（現状D I値▲48.5）となり、9.2ポイント改善の見通しとなった。

業種別のD I値では、現状と比べ製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業、その他の業種でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、建設業、交通運輸業でマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲28.3、建設業▲42.0、卸売業▲44.2、小売業▲49.6、飲食業▲52.1、サービス業▲33.9、交通運輸業▲31.8、その他の業種▲24.9となった。

地区別のD I値では、現状と比べすべての地区でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、北勢地区▲38.6、中勢地区▲36.0、南勢地区▲40.5、伊賀地区▲48.0、東紀州地区▲40.2となった。

図-4 今後の見通しについて（業種別）



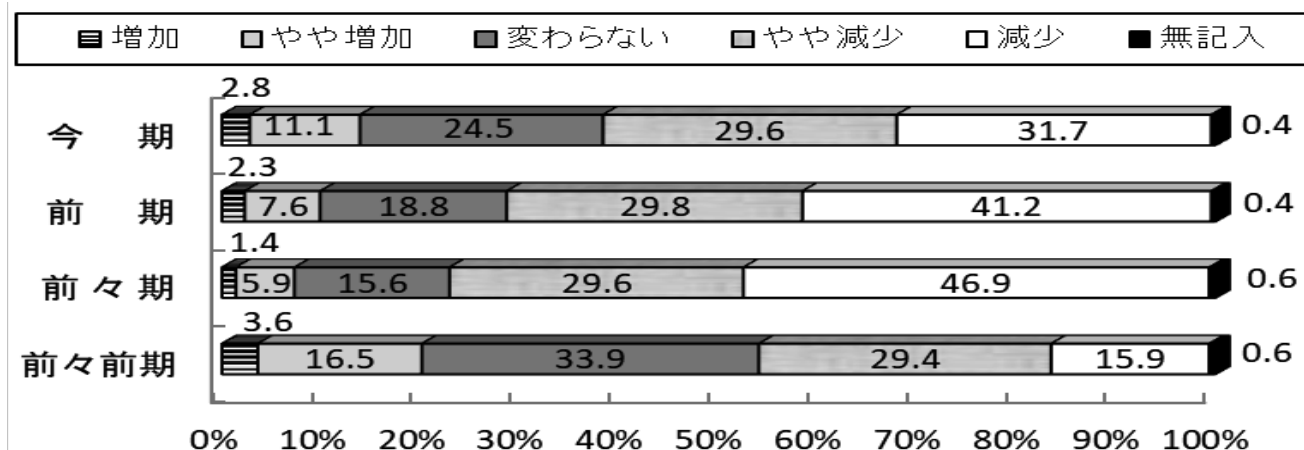
2. 最近の売上状況

全体では、「増加・やや増加」が13.9%（前期9.9%）、「やや減少・減少」が61.3%（前期71.0%）で、D I値は▲47.4（前期▲61.1）となり、13.7ポイント改善した。

業種別のD I値では、前回と比べすべての業種でマイナス幅が減少し改善となり、製造業▲42.9、建設業▲37.6、卸売業▲54.6、小売業▲58.7、飲食業▲81.1、サービス業▲42.5、交通運輸業▲36.3、その他の業種▲25.8となった。

地区別のD I値では、前回と比べほぼ横ばいとなった東紀州地区を除く、すべての地区でマイナス幅が減少し改善となり、北勢地区▲44.6、中勢地区▲41.3、南勢地区▲58.8、伊賀地区▲49.8、東紀州地区▲56.6となった。

図-5 売上状況



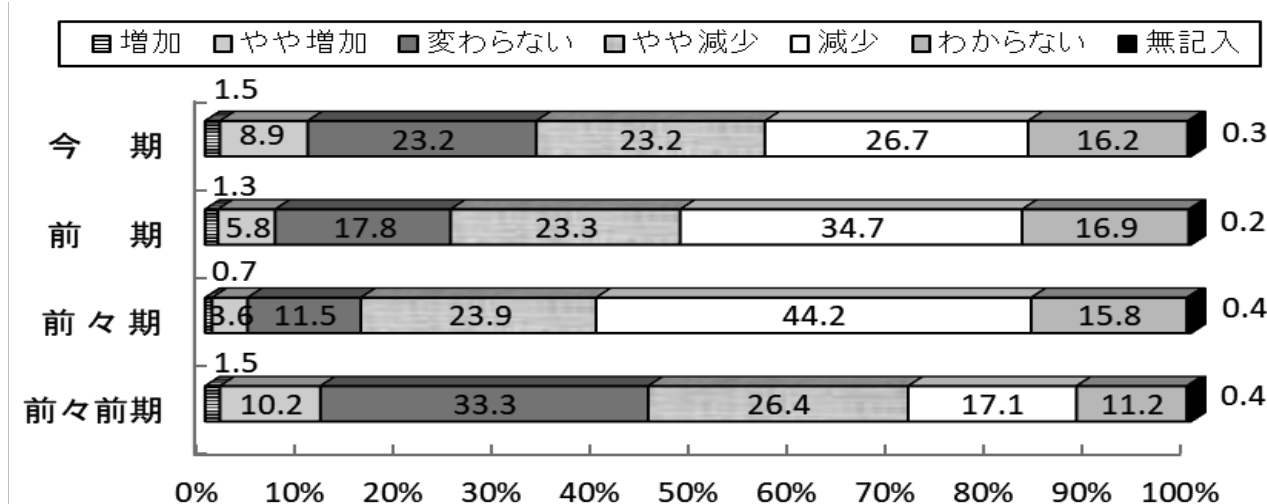
3. 今後の売上見通し

全体では、「増加・やや増加」が10.4%（前期7.1%）、「やや減少・減少」が49.9%（前期58.0%）で、D I値は▲39.5（現状D I値▲47.4）となり、7.9ポイント改善する見通しとなった。

業種別のD I値では、現状と比べ製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業、その他の業種でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、交通運輸業で横ばい、建設業でマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲29.3、建設業▲42.2、卸売業▲47.3、小売業▲48.9、飲食業▲48.8、サービス業▲34.6、交通運輸業▲36.3、その他の業種▲24.3となった。

地区別のD I値では、現状と比べすべての地区でマイナス幅が減少し改善となり、北勢地区▲38.3、中勢地区▲38.0、南勢地区▲43.1、伊賀地区▲44.4、東紀州地区▲38.2となった。

図-6 売上見通し



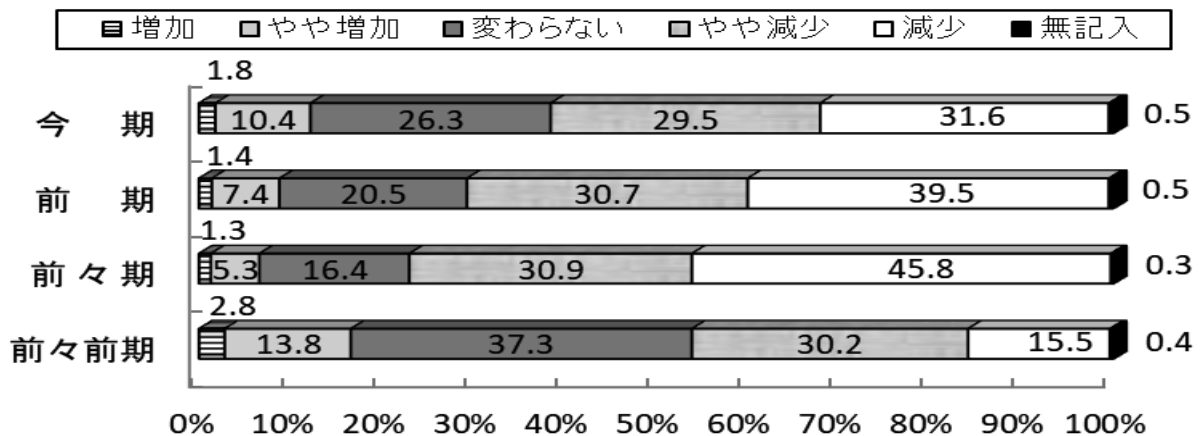
4. 利益状況

全体では、「増加・やや増加」が12.2%（前期8.8%）、「やや減少・減少」が61.1%（前期70.2%）で、D I値は▲48.9（前期▲61.4）となり、12.5ポイント改善した。

業種別のD I値では、前回と比べほぼ横ばいの飲食業を除く、すべての業種でマイナス幅が減少し改善となり、製造業▲47.6、建設業▲39.4、卸売業▲55.2、小売業▲57.1、飲食業▲83.1、サービス業▲43.8、交通運輸業▲34.1、その他の業種▲27.2となった。

地区別のD I値では、前回と比べすべての地区でマイナス幅が減少し改善となり、北勢地区▲45.8、中勢地区▲45.3、南勢地区▲59.9、伊賀地区▲52.5、東紀州地区▲54.9となった。

図-7 利益状況



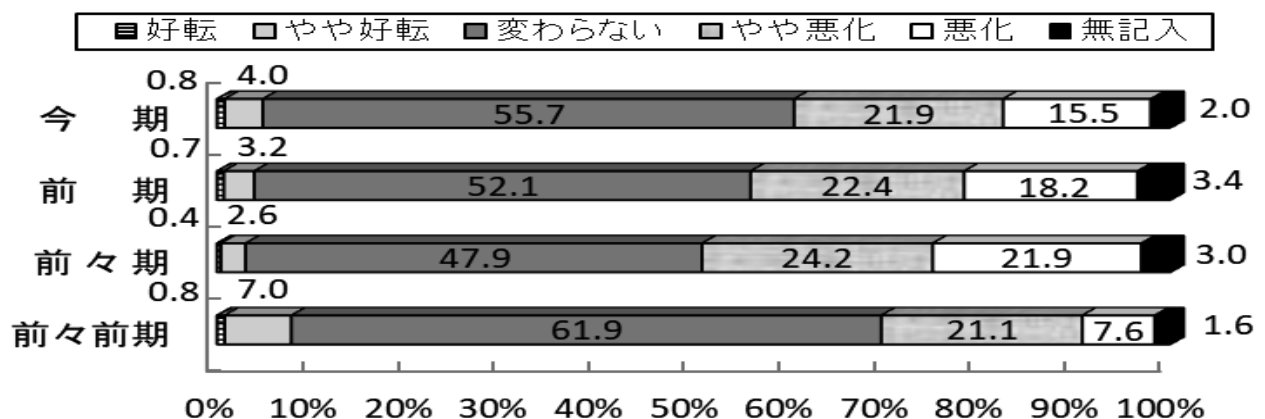
5. 販売条件

全体では、「好転・やや好転」が4.8%（前期3.9%）、「やや悪化・悪化」が37.4%（前期40.6%）で、D I値は▲32.6（前期▲36.7）となり、4.1ポイント改善した。

業種別のD I値では、前回と比べ製造業、卸売業、飲食業、サービス業、交通運輸業、その他の業種でマイナス幅が減少し改善となり、建設業でほぼ横ばい、小売業でマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲27.8、建設業▲29.2、卸売業▲23.7、小売業▲42.5、飲食業▲54.6、サービス業▲28.8、交通運輸業▲18.1、その他の業種▲22.0となった。

地区別のD I値では、北勢地区、中勢地区、南勢地区でマイナス幅が減少し改善となり、伊賀地区、東紀州地区でマイナス幅が増加し悪化が見られ、北勢地区▲30.3、中勢地区▲28.2、南勢地区▲43.6、伊賀地区▲31.0、東紀州地区▲39.2となった。

図-8 販売条件



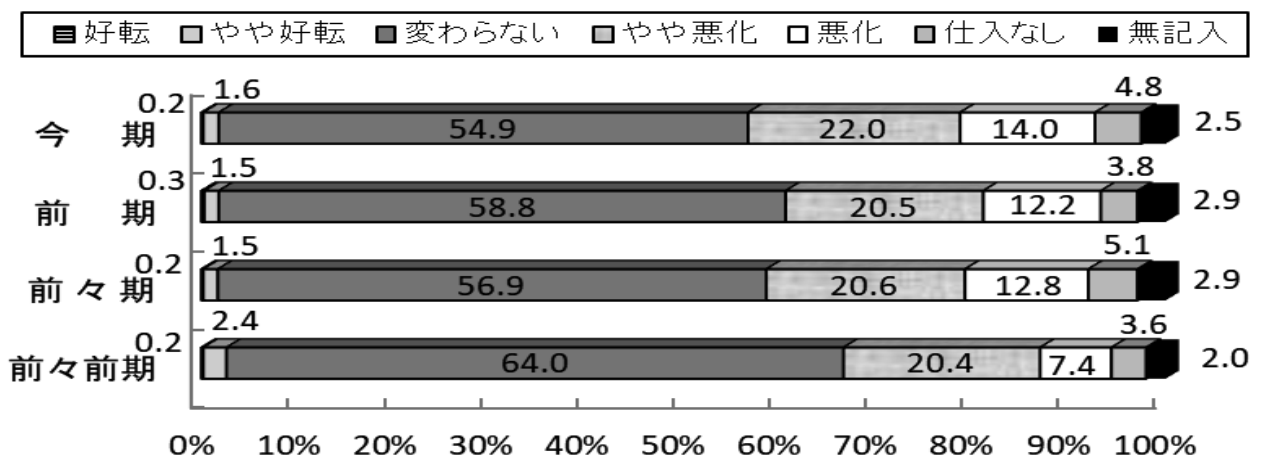
6. 仕入条件

全体では、「好転・やや好転」が1.8%（前期1.8%）、「やや悪化・悪化」が36.0%（前期32.7%）で、D I値は▲34.2（前期▲30.9）となり、3.3ポイント悪化となった。

業種別のD I値では、前回と比べサービス業、交通運輸業、その他の業種でマイナス幅が減少し改善となり、卸売業ではほぼ横ばい、製造業、建設業、小売業、飲食業でマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲42.0、建設業▲31.4、卸売業▲33.9、小売業▲36.0、飲食業▲54.5、サービス業▲21.6、交通運輸業▲34.1、その他の業種▲18.9となった。

地区別のD I値では、前回と比べほぼ横ばいの中勢地区を除く、すべての地区でマイナス幅が増加し悪化が見られ、北勢地区▲34.0、中勢地区▲32.4、南勢地区▲39.3、伊賀地区▲29.8、東紀州地区▲35.4となった。

図-9 仕入条件



7. 設備投資

全体では、設備投資を行った企業は500社、18.1%（前期535社、19.9%）、設備投資を予定している企業は351社、12.7%（前期368社、13.7%）であった。

業種別では、交通運輸業が29.5%と、他の業種よりも設備投資を行った割合が高いという結果となった。設備投資の予定については、サービス業が16.9%と最も高い割合であった。

地区別では、伊賀地区が実績20.4%と最も高く、設備投資の予定についても伊賀地区が15.6%と最も高い割合であった。

図-10 設備投資の実績

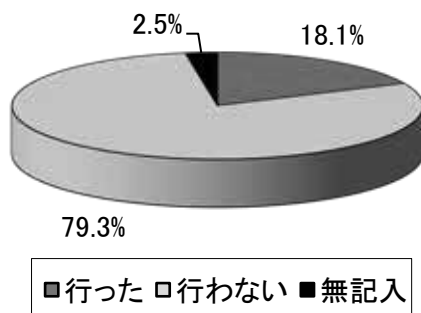
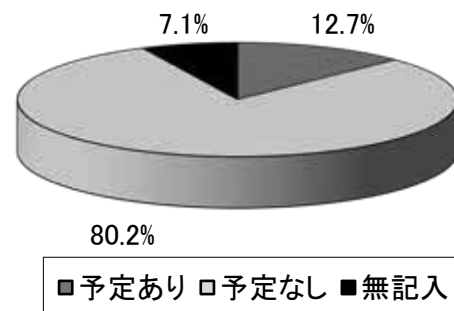


図-11 設備投資の予定



8. 資金繰り状況と今後の見通し

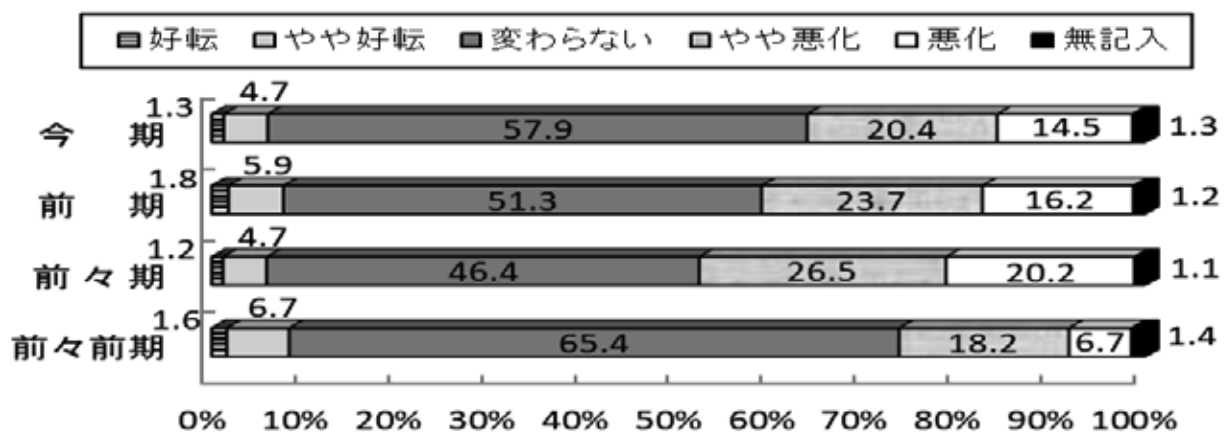
a) 現状

全体では「好転・やや好転」が6.0%（前期7.7%）、「悪化・やや悪化」は34.9%（前期39.9%）で、D I値は▲28.9（前期▲32.2）となり、3.3ポイント改善した。

業種別D I値では、前回と比べほぼ横ばいとなった小売業を除く、すべての業種でマイナス幅が減少し改善が見られ、製造業▲29.3、建設業▲18.9、卸売業▲21.2、小売業▲36.1、飲食業▲61.1、サービス業▲27.2、交通運輸業▲22.7、その他の業種▲9.8となった。

地区別D I値では、前回と比べ北勢地区、中勢地区、伊賀地区でマイナス幅が減少し改善が見られ、南勢地区、東紀州地区はほぼ横ばいで、北勢地区▲26.5、中勢地区▲23.6、南勢地区▲40.8、伊賀地区▲31.1、東紀州地区▲31.8となった。

図-12 資金繰りの現状



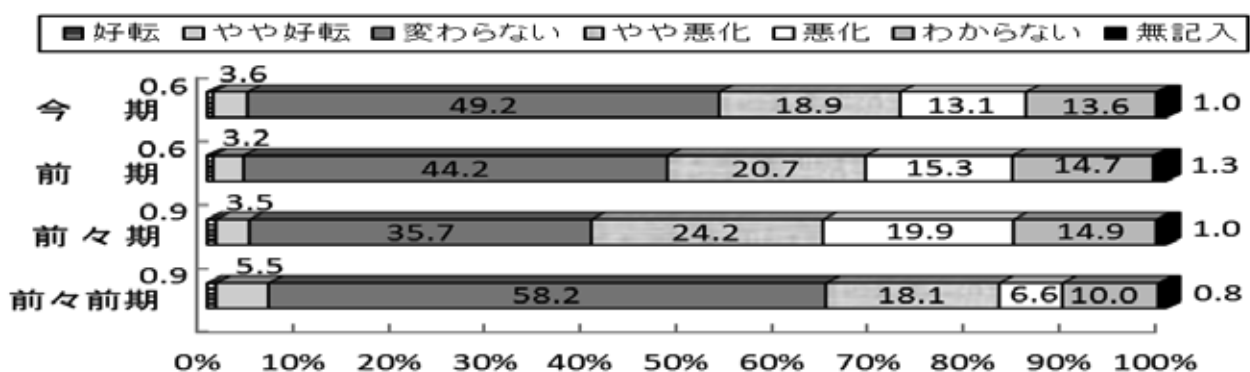
b) 見通し

全体では「好転・やや好転」が4.2%（前期3.8%）、「悪化・やや悪化」は32.0%（前期36.0%）でD I値は▲27.8（現状D I値▲28.9）となり、1.1ポイント改善の見通しとなった。

業種別D I値では、現状と比べ製造業、小売業、飲食業、サービス業でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、交通運輸業で横ばい、建設業、卸売業、その他の業種で現状と比べマイナス幅が増加し悪化する見通しが見られ、製造業▲28.0、建設業▲25.4、卸売業▲26.1、小売業▲32.9、飲食業▲45.5、サービス業▲22.9、交通運輸業▲22.7、その他の業種▲12.9となった。

地区別のD I値では、現状と比べ中勢地区、南勢地区、東紀州地区でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、北勢地区でほぼ横ばい、伊賀地区でマイナス幅が増加し悪化する見通しとなり、北勢地区▲26.7、中勢地区▲22.6、南勢地区▲36.2、伊賀地区▲34.3、東紀州地区▲27.2となった。

図-13 資金繰りの見通し



9. 借入状況

a) 現状

回答企業 2,760 社のうち、借入を実施した企業は、1,104 社、40.0%（前期 1,365 社、50.7%）であった。

b) 借入の難易度

全体では、借入を実施した企業のうち、「容易」が 16.8%（前期 24.0%）、「困難」は 12.6%（前期 9.1%）で、D I 値は 4.2（前期 14.9）となり、10.7 ポイント悪化した。

業種別 D I 値では、その他の業種 14.5 で改善となり、サービス業 8.2 でほぼ横ばい、製造業▲1.2、建設業 7.6、卸売業 12.1、小売業 0.6、飲食業▲8.9、交通運輸業 11.7 で悪化となった。

図-14 借入の難易度

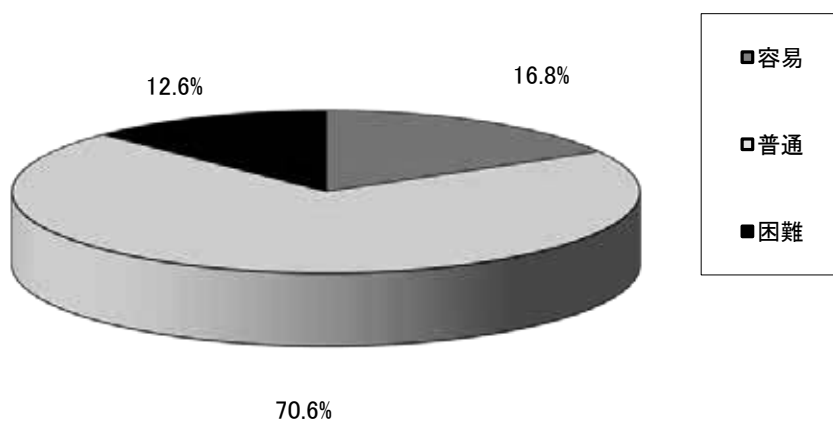
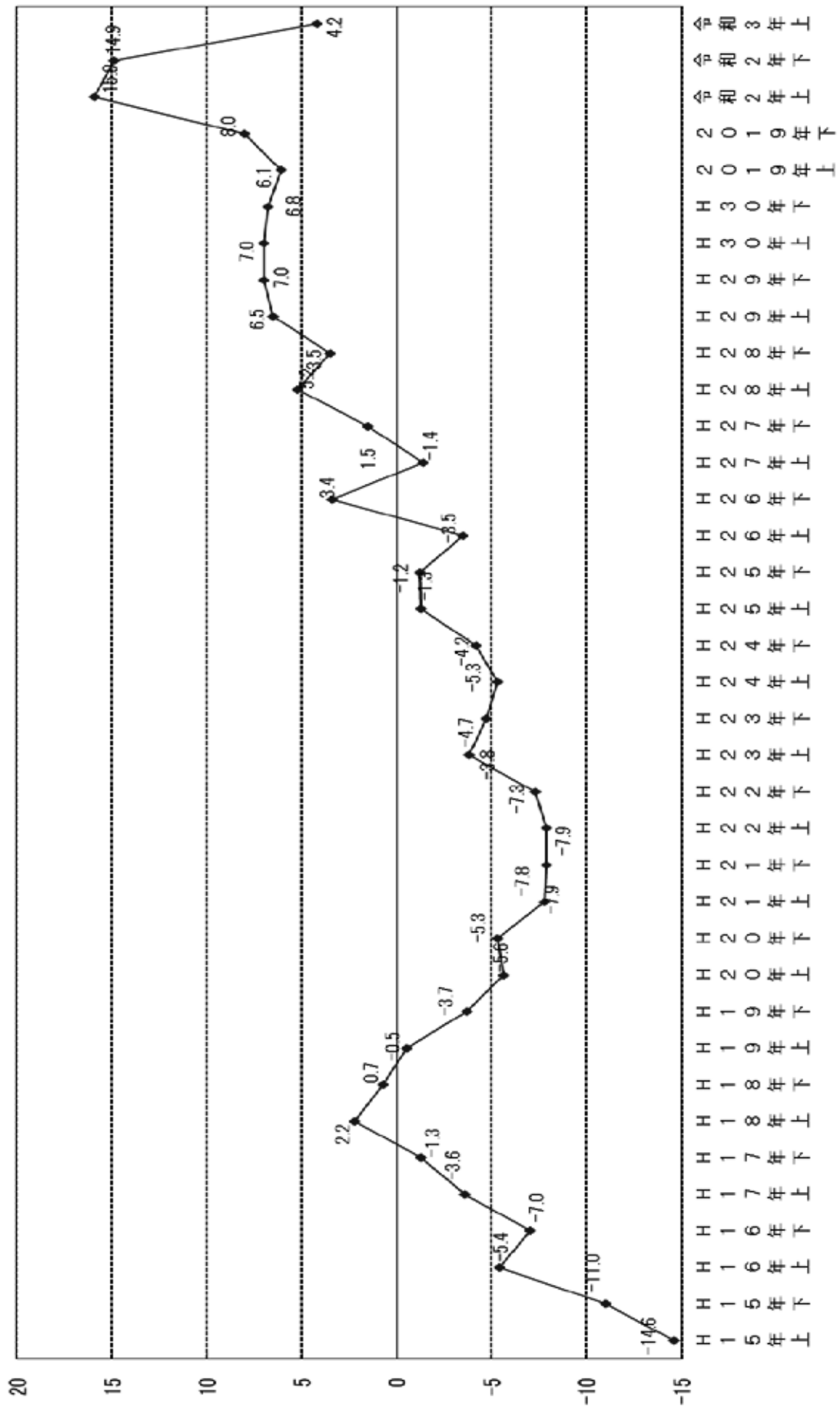


図-15 借入難易度DI値の推移



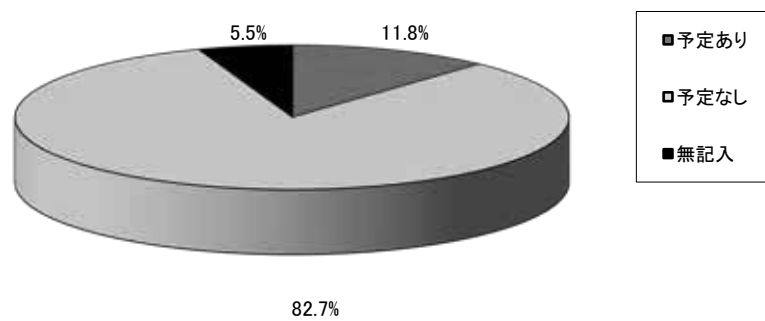
10. 借入予定

全体では、回答企業 2,760 社のうち、借入を予定している企業は 326 社、11.8%（前期 340 社 12.6%）であった。

業種別で見ると、借入を予定しているのは建設業が 14.4%と最も高く、その他の業種が 8.3%と最も低かった。

地区別では、伊賀地区が 18.2%と最も高く、北勢地区 11.9%、中勢地区 9.1%、南勢地区 11.2%、東紀州地区 12.0%となった。

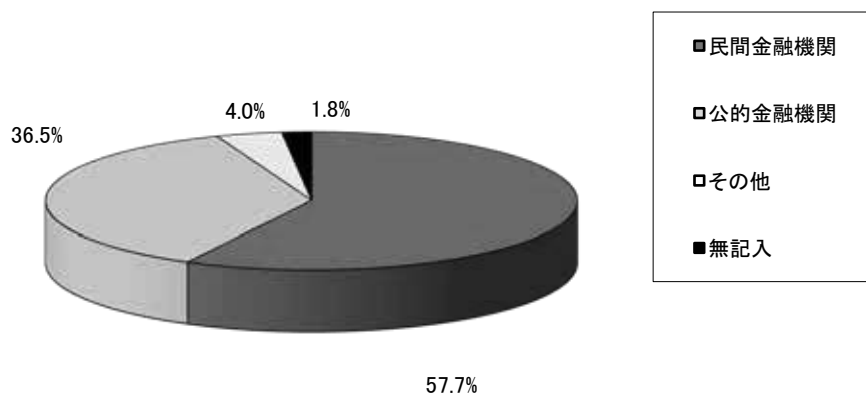
図-16 借入予定



11. 借入希望先

借入を予定している企業のうち、「民間金融機関」が 57.7%（前期 63.2%）、「公的金融機関」は 36.5%（前期 30.9%）となった。

図-17 借入希望先

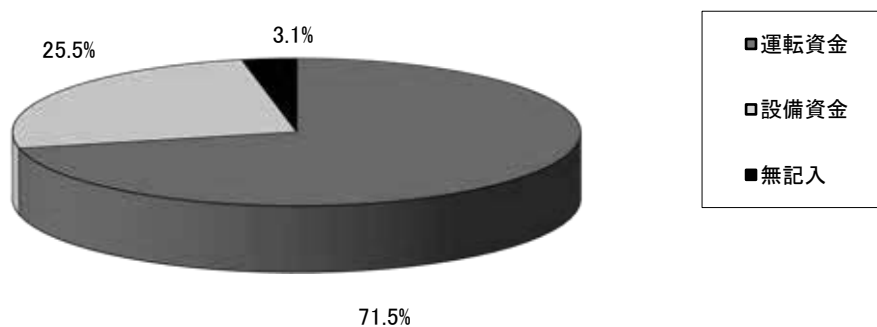


12. 借入金の使途予定

全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」が71.5%（前期68.5%）に対し、「設備資金」は25.5%（前期26.8%）であった。

業種別では「運転資金」で卸売業が88.9%、「設備資金」でサービス業が49.1%と、それぞれ最も高かった。

図-18 借入金の使途予定



13. 経営上の問題点

全体では、「売上・受注の停滞減少」が最も多く57.7%（前期60.2%）、次いで「人手不足」が20.5%（前期21.0%）、「原材料高及び不足」が18.8%（前期7.8%）となった。「売上・受注の停滞減少」、「人手不足」は前回に引き続き、第1位、第2位となった。

業種別では、すべての業種で「売上・受注の停滞減少」の回答が最も多かった。また「人手不足」は、建設業・その他の業種で第2位となった。

表－1 経営上の問題点(3項目以内複数回答)

区 分		第 1 位	第 2 位	第 3 位
業 種 別	製 造 業	売上・受注の停滞減少 (62.1)	原材料高及び不足 (30.8)	設備店舗の狭小老朽化 (24.7)
	建 設 業	売上・受注の停滞減少 (47.6)	人手不足 (39.3)	人材育成 (22.9)
	卸 売 業	売上・受注の停滞減少 (70.9)	原材料高及び不足 (21.2)	競争激化 (17.6)
	小 売 業	売上・受注の停滞減少 (69.0)	競争激化 (23.5)	設備店舗の狭小老朽化 (20.8)
	飲 食 業	売上・受注の停滞減少 (69.4)	設備店舗の狭小老朽化 (28.9)	原材料高及び不足 (23.6)
	サービス業	売上・受注の停滞減少 (50.6)	設備店舗の狭小老朽化 (23.5)	競争激化 (18.3)
	交通運輸業	売上・受注の停滞減少 (54.5)	人件費以外の経費増加 (31.8)	人手不足 (27.3)
	そ の 他	売上・受注の停滞減少 (39.4)	人手不足 (22.0)	人材育成 (18.9)
地 区 別	北 勢	売上・受注の停滞減少 (56.1)	人手不足 (21.8)	原材料高及び不足 (19.1)
	中 勢	売上・受注の停滞減少 (54.3)	人手不足 (23.5)	競争激化 (19.3)
	南 勢	売上・受注の停滞減少 (63.8)	設備店舗の狭小老朽化 (20.2)	人手不足 (18.4)
	伊 賀	売上・受注の停滞減少 (60.0)	競争激化 (23.1)	設備店舗の狭小老朽化 (21.8)
	東 紀 州	売上・受注の停滞減少 (62.2)	原材料高及び不足 (24.9)	設備店舗の狭小老朽化 (22.1)
総 合		売上・受注の停滞減少 (57.7)	人手不足 (20.5)	原材料高及び不足 (18.8)

県内商工会議所地区の景況

桑名商工会議所地区（調査対象 1,479 事業所 回答状況 389 事業所）

現 状

令和3年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が15.4%（前期8.0%）、「やや悪い・悪い」が58.3%（前期70.3%）となった。D I値は▲42.9（前期▲62.3）となり、前期調査時に比べ19.4ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲42.2（前期▲78.8）・建設業が▲26.4（前期▲38.8）・卸売業が▲68.0（前期▲76.0）・小売業が▲65.1（前期▲71.5）・飲食業が▲65.4（前期▲73.6）・サービス業が▲32.4（前期▲37.0）・交通運輸業が▲66.7（前期▲66.6）・その他の業種が▲13.1（前期▲78.9）となった。

業種別では前期と比較して幅はあるものの交通運輸業を除く全ての業種で改善が見られた。特に製造業・その他の業種については、マイナス幅の縮小がみられ改善が見られた。一方で、交通運輸業がほぼ横ばいとなった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が14.4%、「やや悪い・悪い」との回答は47.8%、D I値は▲33.4となった。

現状のD I値（▲42.9）と比較すると、9.5ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲24.5・建設業が▲34.3・卸売業が▲64.0・小売業が▲57.5・飲食業が▲42.3・サービス業が▲17.6・交通運輸業が▲66.6・その他の業種が0.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業が17.7ポイント、卸売業が4.0ポイント、小売業が7.6ポイント、飲食業が23.1ポイント、サービス業が14.8ポイント、その他の業種が13.1ポイント改善する見通しである。

一方で交通運輸業が横ばいで、建設業が7.9ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、57.8%（前期63.5%）、「原材料高及び不足」が21.6%（前期9.3%）、「人手不足」が17.5%（前期15.6%）、「設備・店舗の狭小老朽化」が17.5%（前期14.9%）と上位を占めた。

また、業種別では、前期に引き続き全ての業種において「売上・受注の停滞減少」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は65社 16.7%（前期16.6%）であった。前期と比較してほぼ横ばいとなった。

業種別では、製造業が9.8%（前期11.8%）、建設業が21.1%（前期19.4%）、卸売業が8.0%（前期16.0%）、

小売業が 18.2% (前期 17.5%)、飲食業が 26.9% (前期 15.8%)、サービス業が 19.1% (前期 19.2%)、交通運輸業が 0.0% (前期 0.0%)、その他の業種が 21.7% (前期 31.6%) となった。

前期と比較し、飲食業が 11.1 ポイントと最も増加幅が大きく、その他の業種が▲9.9 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

四日市商工会議所地区 (調査対象 2,158 事業所 回答状況 561 事業所)

現 状

令和 3 年 1~6 月の業況は、「良い・やや良い」が 14.8% (前期 10.9%)、「やや悪い・悪い」が 54.2% (前期 62.6%) となった。D I 値は▲39.4 (前期▲51.7) となり、前期調査時に比べ 12.3 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲33.7 (前期▲58.4)・建設業が▲31.0 (前期▲39.6)・卸売業が▲57.5 (前期▲60.0)・小売業が▲70.7 (前期▲60.3)・飲食業が▲70.8 (前期▲100.0)・サービス業が▲25.8 (前期▲49.1)・その他の業種が▲35.3 (前期▲43.5) となった。

業種別では前期 D I 値と比較して小売業以外のすべての業種で改善が見られた。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 11.0%、「やや悪い・悪い」との回答は 44.3%、D I 値は▲33.3 となった。現状の D I 値 (▲39.4) と比較すると、6.1 ポイント業況の改善を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲19.3・建設業が▲35.7・卸売業が▲42.5・小売業が▲54.6・飲食業が▲33.3・サービス業が▲21.6・その他の業種が▲29.4 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると製造業が 14.4 ポイント、卸売業が 15.0 ポイント、小売業が 16.1 ポイント、飲食業が 37.5 ポイント、サービス業が 4.2 ポイント、その他の業種が 5.9 ポイントと改善を見通す。一方で、建設業が▲4.7 ポイントと悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く 52.2% (前期 52.8%)、次いで「人手不足」が 27.2% (前期 25.7%)、「人材育成」が 18.7% (前期 18.8%) と上位を占めた。

課題別では、「売上・受注の停滞減少」が卸売業・小売業・飲食業で 60%を超え、課題の深刻化が窺える。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 121 社 21.6% (前期 23.0%) であった。前期と比較して 1.4 ポイント減少した。

業種別では、製造業が 30.1% (前期 20.0%)、建設業が 20.3% (前期 20.5%)、卸売業が 10.0% (前期 5.7%)、小売業が 12.0% (前期 23.5%)、飲食業が 33.3% (前期 27.6%)、サービス業が 26.8% (前期 33.9%)、その他の業種では 20.6% (前期 17.4%) となった。

前期と比較し、製造業が 10.1 ポイント、卸売業が 4.3 ポイント、飲食業が 5.7 ポイント、その他の

業種が 3.2 ポイントと増加した一方で、小売業が 11.5 ポイント、サービス業が 7.1 ポイント減少した。

鈴鹿商工会議所地区（調査対象 1,100 事業所 回答状況 367 事業所）

現 状

令和 3 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 11.5%（前期 9.5%）、「やや悪い・悪い」が 64.3%（前期 63.4%）となった。D I 値は▲52.8（前期▲53.9）となり、前期調査時に比べ 1.1 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲48.8（前期▲65.2）・建設業が▲51.6（前期▲42.7）・卸売業が▲71.5（前期▲28.6）・小売業が▲59.7（前期▲65.9）・飲食業が▲91.5（前期▲83.3）・サービス業が▲32.6（前期▲41.7）となった。

業種別に現状 D I 値を比較すると、製造業は 16.4 ポイント、小売業は 6.2 ポイント、サービス業は 9.1 ポイントの改善が見られた一方で、建設業は 8.9 ポイント、卸売業は 42.9 ポイント、飲食業は 8.2 ポイント悪化を示した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 8.9%、「やや悪い・悪い」との回答は 61.3%、D I 値は▲52.4 となった。現状の D I 値（▲52.8）と比較すると、0.4 ポイント業況の横ばいを見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲38.7・建設業が▲57.8・卸売業が▲57.2・小売業が▲63.4・飲食業が▲80.9・サービス業が▲42.8 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、製造業が 10.1 ポイント、卸売業が 14.3 ポイント、飲食業が 10.6 ポイントの改善を見通す一方で、建設業が 6.2 ポイント、小売業が 3.7 ポイント、サービス業が 10.2 ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く 58.9%（前期 58.3%）、「原材料高及び不足」が 21.3%（前期 7.7%）、「人材不足」が 19.1%（前期 23.2%）と上位を占めた。

業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多かった。製造業は、「原材料高及び不足」前期 8 位 6.1%が今期 2 位 25.0%へ、「人手不足」前期 4 位 18.2%が今期 3 位 19.3%と変動した。また、建設業は「原材料高及び不足」前期 6 位 8.5%が今期 3 位 26.8%へ変動した。製造業及び建設業では、「原材料価格及び不足」の課題が表面化している状況が窺える。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は 60 社 16.3%（前期 19.9%）であった。前期と比較して 3.6 ポイント減少した。業種別では、製造業が 11.4%（前期 19.7%）、建設業が 22.7%（前期 23.9%）、卸売業が 14.3%（前期 0.0%）、小売業が 5.8%（前期 15.1%）、飲食業が 19.1%（前期 23.3%）、サービス業が

18.4%（前期 18.8%）となった。前期と比較すると、卸売業で設備投資の増加が見られ、14.3ポイントと最も増加幅が大きい結果となった。一方、小売業は 9.3ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

亀山商工会議所地区（調査対象 516 事業所 回答状況 112 事業所）

現 状

令和3年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が 8.9%（前期 9.2%）、「やや悪い・悪い」が 63.4%（前期 71.6%）となった。D I 値は▲54.5（前期▲62.4）となり、前期調査時に比べ 7.9ポイント改善する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲38.1（前期▲60.0）・建設業が▲43.8（前期▲44.4）・卸売業が▲40.0（前期▲80.0）・小売業が▲80.0（前期▲73.3）・飲食業が▲69.3（前期▲77.0）・サービス業が▲50.1（前期▲63.7）・交通運輸業が▲33.3（前期▲60.0）・その他の業種が▲83.4（前期▲50.0）となった。

業種別では前期D I 値と比較して製造業・卸売業・飲食業・サービス業及び交通運輸業については改善が見られたが、建設業については横ばい、小売業・その他の業種については悪化という結果となった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 8.9%、「やや悪い・悪い」との回答は 46.4%、D I 値は▲37.5となった。

現状のD I 値（▲54.5）と比較すると 17.0ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲28.5・建設業が▲43.8・卸売業が▲40.0・小売業が▲55.0・飲食業が▲15.4・サービス業が▲31.8・交通運輸業が▲33.3・その他の業種が▲66.6となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業が 9.6ポイント・小売業が 25.0ポイント・飲食業が 53.9ポイント・サービス業が 18.3ポイント・その他の業種が 16.8ポイント改善を見通すほか、建設業・卸売業・交通運輸業が現在の水準で推移する見通しである。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、60.7%（前期 61.5%）、「人手不足」が 17.9%（前期 20.2%）、「競争激化」が 17.0%（前期 20.2%）と上位を占めた。

また、業種別では、その他の業種以外の業種において「売上・受注の停滞減少」が最も多く、その他の業種では「人手不足」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 26 社 23.2%（前期 24.8%）であった。前期と比較して 1.6ポイント減少した。

業種別では、製造業が 23.8%（前期 28.0%）、建設業が 12.5%（前期 27.8%）、卸売業が 40.0%（前期 20.0%）、小売業が 10.0%（前期 13.3%）、飲食業が 61.5%（前期 23.1%）、サービス業が 22.7%（前期 36.4%）、交通運輸業が 11.1%（前期 0.0%）、その他の業種が 16.7%（前期 16.7%）となった。設備投資を実施した企業

数では、飲食業が8社と最も多かった。

津商工会議所地区（調査対象 1626 事業所 回答状況 171 事業所）

現 状

令和3年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が12.8%（前期6.0%）、「やや悪い・悪い」が53.2%（前期75.8%）となった。D I値は▲40.4（前期▲69.8）となり、前期調査時に比べ29.4ポイント改善する結果となった。

業種別の主要なD I値を見ると、製造業が▲64.3（前期▲86.6）・建設業が▲32.8（前期▲52.8）・卸売業が▲53.9（前期▲55.5）・小売業が▲18.7（前期▲83.3）・サービス業が▲40.7（前期▲75.0）・その他の業種が▲31.3（前期▲66.6）となった。

業種別では前期D I値と比較して、すべての業種で改善となり、卸売業を除く全ての業種で20ポイント以上の改善となった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が8.8%、「やや悪い・悪い」との回答は47.3%、D I値は▲38.5となった。

現状のD I値（▲40.4）と比較すると、1.9ポイントと改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲35.7・建設業が▲45.4・卸売業が▲15.4・小売業が▲62.5・サービス業が▲25.9・その他の業種が▲43.8を見通す結果となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業、卸売業、サービス業で改善の見通しとなった。小売業では43.8ポイント、建設業では12.6ポイント、その他の業種では12.5ポイント悪化する見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」最も多く、56.1%（前期65.5%）、「人手不足」が28.7%（前期24.8%）、「人材育成」が19.3%（前期20.6%）と上位を占めた。

また、業種別では、全ての業種で「売上・受注の停滞減少」が第1位の項目となっている。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は27社15.8%（前期15.8%）であり、前期と比較してほぼ横ばいとなった。業種別では建設業が9社（前期10社）、製造業が6社、小売業が4社、サービス業3社、卸売業が2社、飲食業が2社、その他の業種が1社となった。

松阪商工会議所地区（調査対象 818 事業所 回答状況 326 事業所）

現 状

令和3年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が12.9%（前期8.3%）、「やや悪い・悪い」が57.3%（前期69.5%）となった。D I値は▲44.4（前期▲61.2）となり、前期調査時に比べ16.8ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲56.3（前期▲69.7）・建設業が▲27.1（前期▲41.3）・卸売業が▲73.4（前期▲82.7）・小売業が▲41.3（前期▲66.2）・飲食業が▲77.7（前期▲64.2）・サービス業が▲45.9（前期▲57.3）・交通運輸業が▲11.6（前期▲60.0）となった。

業種別では前期D I値と比較して、飲食業を除く全ての業種で改善した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が7.9%、「やや悪い・悪い」との回答は42.6%、D I値は▲34.7となった。

現状のD I値（▲44.4）と比較すると、9.7ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲34.6・建設業が▲31.3・卸売業が▲39.9・小売業が▲35.0・飲食業が▲38.9・サービス業が▲35.4・交通運輸業が▲35.2となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業が21.7ポイント、卸売業が33.5ポイント、小売業が6.3ポイント、飲食業が38.8ポイント、サービス業が10.5ポイント改善する見通しである。一方で建設業が4.2ポイント、交通運輸業が23.6ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く53.4%（前期61.5%）、「人手不足」が20.9%（前期21.2%）、「競争激化」が19.6%（前期20.9%）が上位を占めた。

また、業種別では、全ての業種で「売上・受注の停滞減少」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は60社18.4%（前期17.2%）であった。前期と比較して1.2ポイント増加した。

業種別では、製造業が21.8%（前期13.2%）、建設業が18.6%（前期20.6%）、卸売業が13.3%（前期26.1%）、小売業が12.5%（前期10.3%）、飲食業が11.1%（前期28.6%）、サービス業が16.7%（前期14.8%）、交通運輸業が47.1%（前期35.0%）となった。

前期と比較し、交通運輸業が12.1ポイントと最も増加幅が大きく、飲食業は17.5ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

伊勢商工会議所地区（調査対象 600 事業所 回答状況 275 事業所）

現 状

令和3年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が8.7%（前期5.7%）、「やや悪い・悪い」が65.5%（前期76.5%）となった。D I 値は▲56.8（前期▲70.8）となり、前期調査時に比べ14.0ポイント改善する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲42.1（前期▲69.2）・建設業が▲24.4（前期▲43.5）・卸売業が▲60.0（前期▲88.0）・小売業が▲78.9（前期▲84.5）・飲食業が▲86.0（前期▲88.5）・サービス業が▲49.1（前期▲66.7）・交通運輸業が0.0（前期▲50.0）・その他の業種が▲25.0（前期▲53.3）となった。業種別では前期D I 値と比較してすべての業種で改善が見られた。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が12.0%、「やや悪い・悪い」との回答は53.4%、D I 値は▲41.4となった。

現状のD I 値（▲56.8）と比較すると、15.4ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲21.1・建設業が▲44.0・卸売業が▲39.9・小売業が▲50.8・飲食業が▲55.8・サービス業が▲38.5・交通運輸業が100.0・その他の業種が▲25.0となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業が21.0ポイント、卸売業が20.1ポイント、小売業が28.1ポイント、飲食業が30.2ポイント、サービス業が10.6ポイント、交通運輸業が100.0ポイント改善を見通すほか、その他の業種が0.0と現在の水準で推移する見通しである。一方で建設業は、19.6ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」最も多く、63.6%（前期66.8%）、「人手不足」が20.4%（前期23.5%）、「原材料高及び不足」が16.7%（前期8.4%）と上位を占めた。

また、業種別では、交通運輸業を除く全ての業種で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、交通運輸業で「税務・経理」「人件費以外の経費増加」上位を占めた。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は40社14.5%（前期17.7%）であった。前期と比較して3.2ポイント減少した。業種別では、業種別ではサービス業が11社と最も多かった。

鳥羽商工会議所地域（調査対象 250 事業所 回答状況 117 事業所）

現 状

令和3年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が7.7%（前期7.7%）、「やや悪い・悪い」が77.8%（前期80.7%）となった。D I値は▲70.1（前期▲73.0）となり前期調査時に比べ、2.9ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲77.7（前期▲62.5）・建設業が▲40.0（前期▲38.5）・卸売業が▲85.7（前期▲100.0）・小売業が▲76.0（前期▲100.0）・飲食業が▲81.3（前期▲94.7）・サービス業が▲72.0（前期▲46.6）・交通運輸業が0.0（前期0.0）・その他の業種が▲80.0（前期▲75.0）となっている。業種別において卸売業、小売業、飲食業に改善がみられるが製造業、建設業、サービス業、その他の業種については悪化している。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が8.6%、「やや悪い・悪い」との回答は47.0%、D I値は▲38.4となった。

現状のD I値（▲70.1）と比較すると、31.7ポイント改善の見通しとなっている。

業種別のD I値を見ると製造業が▲38.9・建設業が▲45.0・卸売業が▲28.6・小売業が▲32.0・飲食業が▲31.2・サービス業が▲52.0・交通運輸業が100.0・その他の業種が▲40.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると建設業を除くすべての業種が改善の見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、前回と変わらず「売上・受注の停滞減少」が最も多く64.1%（前期63.5%）を占めた。次いで「設備店舗の狭小老朽化」が31.6%（前期26.0%）、「原材料高及び不足」が21.4%（前期7.7%）と上位を占めた。業種別においてもすべての業種で「売上・受注の停滞減少」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は24社20.5%（前期25.0%）であった。前期と比較して4.5ポイント減少した。業種別では、製造業が16.7%（前期22.2%）、建設業が25.0%（前期46.2%）、卸売業が42.9%（前期0.0%）、小売業が4.0%（前期0.0%）、飲食業が31.3%（前期31.6%）、サービス業が20.0%（前期46.7%）、交通運輸業が0.0%（前期100.0%）、その他業種が20.0%（前期25.0%）となった。

上野商工会議所地区（調査対象 280 事業所 回答状況 113 事業所）

現 状

令和3年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が4.4%（前期3.6%）、「やや悪い・悪い」が61.9%（前期66.9%）となった。D I 値は▲57.5（前期▲63.3）となり、前期調査時に比べ5.8ポイント改善する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲52.0（前期▲53.3）・建設業が▲52.7（前期▲75.0）・卸売業が▲60.0（前期▲83.3）・小売業が▲64.7（前期▲70.3）・飲食業が▲93.8（前期▲100.0）・サービス業が▲44.0（前期▲30.0）・交通運輸業が▲66.7（前期▲100.0）となった。

業種別では前期D I 値と比較して、製造業・建設業・卸売業・小売業・飲食業・交通運輸業でマイナス幅が縮小し改善が見られた。一方で、サービス業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が5.3%、「やや悪い・悪い」との回答は57.5%、D I 値は▲52.2となった。

現状のD I 値（▲57.5）と比較すると、5.3ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲44.0・建設業が▲52.6・卸売業が▲60.0・小売業が▲47.0・飲食業が▲81.3・サービス業が▲48.0・交通運輸業が▲66.6となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業が8.0ポイント、小売業が17.7ポイント、飲食業が12.5ポイント改善を見通すほか、建設業・卸売業・交通運輸業が現在の水準で推移する見通しである。一方で、サービス業は4.0ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く64.6%（前期70.5%）、「競争激化」が31.9%（前期25.0%）、「設備店舗の狭小老朽化」が28.3%（前期36.6%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・建設業・卸売業・小売業・飲食業・交通運輸業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、サービス業では「競争激化」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は29社25.7%（前期16.1%）であった。前期と比較して9.6ポイント増加した。

業種別では、製造業が12.0%（前期10.0%）、建設業が10.5%（前期6.3%）、卸売業が0.0%（前期0.0%）、小売業が23.5%（前期29.6%）、飲食業が43.8%（前期33.3%）、サービス業が40.0%（前期10.0%）、交通運輸業が100.0%（前期25.0%）となった。業種別では、飲食業が7社と最も多かった。

名張商工会議所地域（調査対象 200 事業所 回答状況 112 事業所）

現 状

令和3年1月～6月の業況は、「良い・やや良い」が12.5%（前期13.7%）、「やや悪い・悪い」が63.4%（前期64.2%）となった。D I 値は▲50.9（前期▲50.5）となり、前期調査時に比べほぼ横ばいの結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲43.8（前期▲38.5）・建設業が▲50.1（前期▲47.8）・卸売業が▲75.0（前期▲14.3）・小売業が▲31.3（前期▲50.1）・飲食業が▲83.4（前期▲70.0）、サービス業が▲51.8（前期▲56.6）・その他の業種が0（前期▲66.6）となった。業種別では前期D I 値と比較して小売業、サービス業、その他の業種で改善が見られた。一方で製造業、建設業、卸売業、飲食業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が10.7%、「やや悪い・悪い」との回答は54.5%、D I 値は▲43.8となった。

現状のD I 値（▲50.9）と比較すると、7.1ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲12.5・建設業が▲57.7・卸売業が▲37.5・小売業が▲31.2・飲食業が▲50.0・サービス業が▲62.2・その他の業種が25.0となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業が31.3ポイント・卸売業が37.5ポイント・飲食業が33.4ポイント・その他の業種が25.0ポイント改善を見通すほか、小売業は現在の水準で推移する見通しである。一方で建設業が7.6ポイント・サービス業が10.4ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く、55.4%（前期51.6%）、「原材料高及び不足」が16.1%（前期5.3%）「設備店舗の狭小老朽化」が15.2%（前期18.9%）、と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・建設業・卸売業・小売業・飲食業・サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、その他の業種で「人材育成」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は17社15.2%（前期29.5%）であった。前期と比較して14.3ポイント減少した。業種別では飲食業が6社と最も多かった。

業種別では、製造業が6.3%（前期15.4%）、建設業が15.4%（前期34.8%）、卸売業12.5%（前期14.3%）、小売業が6.3%（前期28.6%）、飲食業が50.0%（前期30.0%）、サービス業が6.9%（前期30.4%）、その他の業種では50.0%（前期33.3%）となった。

尾鷲商工会議所地域（調査対象 135 事業所 回答状況 133 事業所）

現 状

令和3年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が12.0%（前期9.6%）、「やや悪い・悪い」が60.1%（前期66.7%）となった。D I値は▲48.1（前期▲57.1）となり、前期調査時に比べ9.0ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲15.1（前期▲51.6）・建設業が▲22.8（前期▲38.5）・卸売業が▲49.9（前期▲57.2）・小売業が▲66.6（前期▲57.7）・飲食業が▲92.3（前期▲77.0）・サービス業が▲66.7（前期▲76.1）・交通運輸業が▲40.0（前期▲40.0）・その他の業種が▲83.3（前期▲60.0）となった。

業種別では前期D I値と比較して製造業、建設業、卸売業、サービス業で改善が見られ、交通運輸業がほぼ横ばいの結果となり、特に製造業については、マイナス幅が36.5ポイント縮小し、改善が見られた。一方で、小売業、飲食業、その他の業種では悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が9.8%、「やや悪い・悪い」との回答は43.6%、D I値は▲33.8となった。

現状のD I値（▲48.1）と比較すると、14.3ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲6.0・建設業が▲31.8・卸売業が▲66.7・小売業が▲44.4・飲食業が▲61.6・サービス業が▲38.1・交通運輸業が▲40.0・その他の業種が▲33.3となった。

業種別に現状のD I値を比較すると、その他の業種が50.0ポイント改善を見通すほか、飲食業が30.7ポイント、サービス業が28.6ポイント、小売業が22.2ポイント、製造業が9.1ポイントの改善を見通し、交通運輸業がほぼ横ばいとなる結果となった。一方で、卸売業で▲16.8ポイント、建設業で▲9.0ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題については、前期に引続き「売上・受注の停滞減少」が最も多く56.4%（前期64.4%）、「原材料高及び不足」が26.3%（前期14.8%）、「設備店舗の狭小老朽化」が21.8%（前期21.5%）、「人件費以外の経費増加」が17.3%（前期7.4%）、「人手不足」が14.3%（前期14.1%）、「競争激化」が14.3%（前期11.1%）と上位を占めた。

業種別では、原材料高及び不足について、卸売業では前期回答無しから今期2位の33.3%、建設業では前期5位の7.7%から今期3位の27.3%へ増加した。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は18社13.5%（前期28社20.7%）であった。前期と比較して7.2ポイント減少した。

業種別では、製造業9.1%（前期19.4%）、建設業4.5%（前期11.5%）、卸売業16.7%（前期0.0%）、小売業14.8%（前期3.8%）、飲食業15.4%（前期46.2%）、サービス業23.8%（前期38.1%）、交通運輸業0.0%（前期20.0%）、その他の業種33.3%（前期60.0%）となり、前期と比較し、卸売業が16.7ポイントと最

も増加幅が大きく、飲食業が 30.8 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。設備投資を実施した企業数では、サービス業が 5 社と最も多かった。

熊野商工会議所地区（調査対象 200 事業所 回答状況 84 事業所）

現 状

令和 3 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 6.0%（前期 11.4%）、「やや悪い・悪い」が 72.7%（前期 71.5%）となった。D I 値は▲66.7（前期▲60.1）となり、前期調査時に比べ 6.6 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲76.9（前期▲90.9）・建設業が▲14.3（前期▲20.0）・卸売業が▲75.0（前期▲25.0）・小売業が▲75.8（前期▲63.7）・飲食業が▲100.0（前期▲62.5）・サービス業が▲66.7（前期▲62.5）その他の業種が▲66.7（前期▲66.7）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業と建設業で改善が見られた。特に製造業については、マイナス幅の大幅な縮小により改善が見られた。一方で、その他の業種が横ばいとなった。また卸売業・小売業・飲食業・サービス業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 3.6%、「やや悪い・悪い」との回答は 53.5%、D I 値は▲49.9 となった。

現状の D I 値（▲66.7）と比較すると、16.8 ポイント業況の改善を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲46.2・建設業が▲64.3・卸売業が▲50.0・小売業が▲51.7・飲食業が▲44.4・サービス業が▲41.7・その他の業種が▲33.3 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、製造業が 30.7 ポイント・卸売業が 25.0 ポイント・小売業が 24.1 ポイント・飲食業が 55.6 ポイント・サービス業が 25.0 ポイント・その他の業種が 33.4 ポイント改善を見通す一方で建設業は、50.0 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く 71.4%（前期 57.1%）、「設備店舗の狭小老朽化」が 22.6%（前期 20.0%）、「原材料高及び不足」が 22.6%（前期 5.7%）と上位を占めた。

また、業種別でみると飲食業では前期 2 位は「人手不足・立地条件の悪化」25.0%であったが、今期 2 位は「原材料高及び不足」44.4%（前期 4 位）となり、順位に変動がみられた。

「原材料高及び不足」の課題が表面化している状況が窺える。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 13 社 15.5%（前期 15.7%）であった。前期と比較してほぼ横ばいとなった。業種別では、製造業・建設業・小売業・サービス業において設備投資が多く見られた。

景況調査票

令和3年7月

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1 業種(主たるもの1つ)

〈製造業〉	1.食料品	2.繊維品	3.機械製品	4.金属製品	5.木材木製品
	6.化学製品	7.土石窯業	8.印刷・出版	9.その他	
〈建設業〉	10.土木工事	11.建築工事	12.その他		
〈卸売業〉	13.食料品	14.繊維・身の回り品	15.その他		
〈小売業〉	16.繊維・身の回り品	17.食料品	18.家具・日用品	19.電気製品	20.その他
〈飲食業〉	21.飲食店				
〈サービス業〉	22.美容・理容	23.ホテル・旅館	24.自動車整備	25.不動産	26.その他
〈交通運輸業〉	27.交通運輸	〈その他〉	28.その他()		

2 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1.0～5人	2.6～20人	3.21～50人	4.51～100人	5.101人以上
--------	---------	----------	-----------	----------

II. 企業の経営状況について

3 現状について…令和3年1～6月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1.良	い	2.やや良い	3.変わらない	4.やや悪い	5.悪	い
-----	---	--------	---------	--------	-----	---

➡ (理由:)

4 今後の見通しについて…令和3年7～12月の業況は前年同期に比べてどうなるとお考えですか。

1.良	い	2.やや良い	3.変わらない	4.やや悪い	5.悪	い	6.わからない
-----	---	--------	---------	--------	-----	---	---------

➡ (理由:)

5 売上状況について…令和3年1～6月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1.増	加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.減	少
-----	---	--------	---------	--------	-----	---

6 売上の見通しについて…令和3年7～12月の売上は前年同期に比べてどうなるとお考えですか。

1.増	加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.減	少	6.わからない
-----	---	--------	---------	--------	-----	---	---------

7 利益状況について…令和3年1～6月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1.増	加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.減	少
-----	---	--------	---------	--------	-----	---

8 販売条件(単価・決済方法)について…令和3年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1.好	転	2.やや好転	3.変わらない	4.やや悪化	5.悪	化
-----	---	--------	---------	--------	-----	---

9 仕入条件(単価・決済方法)について…令和3年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1.好 転	2.やや好転	3.変わらない	4.やや悪化	5.悪 化	6.仕入なし
-------	--------	---------	--------	-------	--------

10 設備投資について

令和3年1～6月の実績		➔	令和3年7～12月の予定	
1.行 っ た	2.行わない		1.予定あり	2.予定なし

11 資金繰りの現状について…令和3年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1.好 転	2.やや好転	3.変わらない	4.やや悪化	5.悪 化
-------	--------	---------	--------	-------

12 資金繰りの見通しについて…令和3年7～12月は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1.好 転	2.やや好転	3.変わらない	4.やや悪化	5.悪 化	6.わからない
-------	--------	---------	--------	-------	---------

13 借入の現状について…令和3年1～6月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1.容 易	2.普 通	3.困 難
-------	-------	-------

14 借入予定はありますか…(令和3年7～12月)

1.予定している	2.予定していない
----------	-----------

14-① 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1.民間金融機関	2.公的金融機関	3.そ の 他
----------	----------	---------

14-② 資金用途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1.運 転 資 金	2.設 備 資 金
-----------	-----------

15 現在経営上で、困っている問題点は何ですか。あれば3つ以内で選んでください。

1.売上・受注の停滞減少	6.設備・店舗の狭小老朽化	11.競争激化
2.製品・商品単価の下落	7.売掛・債権回収の悪化	12.人材育成
3.人手不足	8.人件費の増加	13.立地条件の悪化
4.過剰人員	9.人件費以外の経費の増加	14.法的規制等(緩和を含む)
5.借入難	10.原材料高及び不足	15.税務・経理問題

16 その他困っている問題・御意見等があれば御記入ください。

()

御協力ありがとうございました。